

議員定数について

伊藤 久恵

【現状維持の理由】

海津市にふさわしい議員定数を検討するには、先ず、議会の役割として、

- ① 市の意思決定を行う「議事機関」
 - ② 条例制定・廃止する「立法機関」
 - ③ 市政が適正かチェックする「監視機関」
 - ④ 選挙で選ばれた代表として市民の意見を市政に反映させる「住民代表機関」
- としての役割がある。

いずれも重要な役割で、どの役割を重要視するかで議員定数の考え方も多少変わってくるといわれている。

議員定数については、人口減少や、市の財政状況を考えて、また、議会改革の一環として議員を減すべきとの意見が多かった。しかし、多様な価値観を持った社会の実現により、広い視野を持って相手を理解し、意見を聞き、市政に反映させるためにも、多様な考えを持つ議員のなり手を確保することが必要となってきたのではないかなと思う。

議会として、単に議員を削減することよりも、議員各位のそれぞれの特性を生かし、常に向上しようと努力することに重点を置き、さらなる活性化した議会を目指していけたらよいのではないかなと思う。

次に、全国の議会の定数について、815市の議員定数は、人口5万人未満の市では、1市あたり平均16.8人となっている。

また、岐阜県内の類似市と比較した場合、たとえば、本巣市人口32,099人で議員数16人、下呂市人口29,118人で議員数14人、海津市においては、人口31,815人で議員数15人となっており、特に本市の議員数が多いとはいえない。

さらに、本市における常任委員会の研修の学びも多岐にわたり内容も深まっている。広報委員会も広報・広聴委員会としての特に広聴の内容が充実してきて、議員自らが市民の声を聴く「出張！議員と語ろう会」なども開催されている。開かれた議会を目指して、議会改革が進み活性化しつつあると感じる。このような状況を鑑みて、定員削減によって議会の活力を減速させてはいけないと思う。よって、私は議員定数について、現状維持で良いと考える。